

NPOと市民の”資金の縁結び”の仕組み『共感寄付プログラム』による NPOの資金獲得支援

● 事業の目的

『共感寄付プログラム』は「誰かの役に立ちたい」という市民の思いを「寄付」で形にすることが出来、参加した団体は活動資金を獲得できるという資金の縁結びが出来るプログラムである。本プログラムをさらに拡大・発展させることにより、NPOの寄付募集の支援と市民の寄付促進、さらには寄付文化の醸成を実現したい。

● 事業の概要

公益財団法人の税制優遇資格を活かした『共感寄付プログラム』は、2012年の前身（市民活動センター神戸）から累計3,278件69,306,986円の寄付を集め97事業に52,665,365円（実数63団体）に助成した。近年活用が拡がっているクラウドファンディングにもこの仕組みは似ているが、①兵庫県内のNPO支援に特化している点、②寄付控除が使える点、③公益財団の信頼性の点、④寄付集めという個別利益を超え市民セクター全体としての地位向上・認知度向上をNPO全体で目指す狙いが仕組みの基盤である点、で差別化をはかっている。

プログラムの知名度が低く、社会の役に立ちたいという市民の思いを実現するツールが市民のもとに届いていないため、チラシ配布・SNS発信・メディア取材・イベント出展等の方法で知名度アップを目指す。また参加団体どうしの連携も重視しており交流会も実施する。

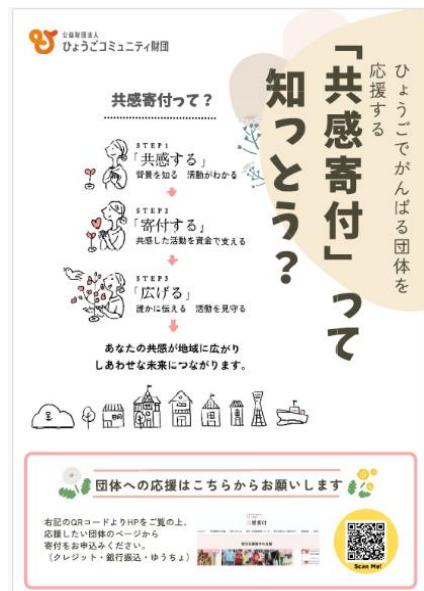
● プログラムの状況

参加団体数：30団体（前期9団体から大幅に増加している）

寄付の実績：380件 17,142,400円（2025.4.1～2026.1.9の累計）

● 助成を受けて行った主な事業内容

- ・広報チラシ作成 県内140か所に配架依頼（2回発送済み）
- ・参加団体先への訪問(4団体実施) インタビュー記事をHPで公開
- ・2025/5/31.6/1 神戸レインボーフェスタ2025 ブース出展
⇒来場者1万人以上のイベント チラシ300部配布・活動の宣伝を行った
- ・2025/10/4 市民活動大交流会
⇒助成先団体・選考委員・当財団理事の交流会を実施し40団体70名ほどが参加 団体の活動報告、講師によるファンドレイジング講座、交流会を行った
- ・2026/1/15 共感寄付参加団体座談会
⇒参加団体同士の寄付集めに関する情報交換の場を設定、気軽に相談できる場の提供
- ・2026/2/12 第7期新規参加団体向け説明会
⇒新規参加を検討している団体向けに合同の説明会を予定、その後個別相談を受ける予定



チラシ作成、各所へ配架依頼



2025.5.31/6.1 神戸レインボーフェスタ2025出展



2025/10/4 市民活動大交流会実施



参加団体へ訪問取材・記事をHPに掲載